

## 挨拶で輝く未来

中学校二年

皆さんは挨拶の大切さについて知っていますか。小さい頃から長い間「挨拶は良いことだ」と習ってきたため、挨拶の大切さについて考えたことがないという人もいると思います。しかし、それでは勿体無い程挨拶には素晴らしい力が秘められています。

私は挨拶をすることで、立場を問わず誰もが平等で、温かい輪が広がる、そんな社会になると思います。

「挨拶」の語源を紐解いてみると、禅宗で問答を交わして相手の悟りの深淺を試すことを「一挨一拶」といい、その言葉に由来するそうです。「挨」には、「押し開く」「互いに心を開いて近づく」、「拶」には、「迫る」「や」「寄る」、「近づく」といった意味があります。つまり、互いの心を開いて、相手の心に近づいていくことが「挨拶」ということです。

私の所属している吹奏楽部では、昔からの伝統で会った人に挨拶をしています。はじめは話したことのない人や知らない人に自分から挨拶をする事が恥

ずかしかったり、もし無視されたらどうしよう...と思っていました。ですが、自分から勇気を出して挨拶をしていくうちに、笑顔で挨拶を返してくれる人も沢山いるということに気付き、はじめの頃より自分から積極的に挨拶ができるようになりました。

そして、ある日の朝、私がいつものように登校していると、前方から自転車に乗った外国の方が近づいてきました。すれ違いざまに、私がいつものように自分から挨拶をしようとする、相手から先に挨拶をしてくださいました。その言葉は日本語ではない言語でしたが、私はその時、言語が違っていても挨拶は心が通じ合える、とても大切な物だということ、自分からでも、相手からでも、挨拶をすることで、とても温かい気持ちになるのだということを知りました。

挨拶といえは、「おはよう」や「こんにちは」、「こんにちは」などが思い浮かびがちですが、「ありがとう」などの感謝の言葉も立派な挨拶です。他にも「お疲れ様」などの労いの言葉もあります。感謝の気持ちを込めてそのような挨拶をすれば、相手にもきつと思いは伝わるはずです。心のこもった挨拶をすると、相手にも喜んでもらえると思います。

挨拶で大切なことは、笑顔です。私は、笑顔はみんなを幸せにするものだと思っています。ぜひ、みなさんも笑顔で挨拶をしてみてください。笑顔にあふれた素敵な毎日になります。

年齢や性別、立場を問わず、誰かとすれ違う時に、たった一言声をかけるだけで、輝いた日々を送ることができます。

人権を守るだけでなく、築いていくことができます。皆さんも、勇気を出して挨拶をしてみましよう。輝く、皆の未来のために。